園だより　2025. 11月
認定こども園　下関短期大学付属第二幼稚園
山口県下関市彦島塩浜町２丁目2-21　☎　083(266)5821

デジタルネイティブ世代の灯火親しむの候

運動会では、危ぶまれた天気も子どもたちの元気が雲を追い払ってくれ、盛会裏に終わりました。どのクラスも見事な競技・演技で、輝いていました。私は時々園長という立場を忘れ、「じいじ」の目になっていました。本当に素晴らしい運動会でした。PTA役員、一人一役の皆様もご協力大変ありがとうございました。

さて、「秋の読書推進月間」（10/25～11/23）です。読売新聞社が先日行った全国世論調査によると、子どもの頃、絵本の読み聞かせをしてもらったことがあったという人は、１８～３９歳で７８％、４０～５９歳で５３％、６０歳以上で３１％と、若年層ほど割合が大きかったそうです。保護者の皆様の中にも、幼い頃親御さんから絵本をよく読んでもらっていたという方も多いのではないでしょうか。読み聞かせをしてもらった経験の有無に関係なく、読み聞かせが子どもの成長に良い影響を与えると「思う」との回答は、いずれの年代でも９割を超えていました。

ご家庭ではいかがでしょうか。絵本を読んであげておられますか。少なくとも私の孫たちはどうもそうは思えません。わが家に泊まりに来ても、食事のとき以外は持参したスマホや携帯型ゲーム機を手におとなしく座っているだけです。スマホで何をしているかというと、ゲームやYou tube。

「デジタルネイティブ」という言葉が聞かれるようになって久しいですが、今やネイティブ世代の典型「α世代」の子どもたちについて脳科学からも注目を集めているそうです。

> 「デジタルネイティブ」とは、生まれたときからインターネットやスマートフォンなどのデジタル技術が身近にある環境で育った世代のことを指し、主に次のような特徴がある。
> スマホや SNS が生活の一部となっており、情報収集やコミュニケーション、娯楽などをオンライン中心で行う。また、即時性・効率性を重視し、「すぐに調べる」「すぐに返信」「短時間で結果を得る」ことを好む傾向にあり、インターネットを使った検索もずば抜けて速い。
> 「α世代」とは、2010 年以降に生まれた世代を指し、すでにデジタルが整った社会を前提として生きている。（例：AI が自分の代わりに宿題をする。友達はオンライン上にもいる）
> α世代の脳は「短時間で多くの情報を見分け・選ぶ」能力が発達しやすい一方、「長時間ひとつのことに集中する力」が育ちにくい傾向もあると指摘されている。（以上、ChatGPT を参考）

AI が私たちの生活に様々な変化を及ぼすようになりました。上の ChatGPT もそうです。知りたいことを即座に教えてくれます。便利になりましたが、子どもには AI をうまく活用しながらも、時には自分の脳でじっくりと考え、時間や手間をかける経験をさせることも大事ではないでしょうか。

学校現場でも、学習用タブレット端末が配備されて以降、教科書や本をじっくり読んで考える授業ではなく、タブレット端末を使って短時間に答えを見つけるタイムパフォーマンス重視の授業が行われるようになりました。本を読んで「面白い」と感じる経験がなければ、子どもは読書から離れていくと、全国学校図書館協議会は警鐘を鳴らしています。

そういえば、例えば小学校４年生の「ごんぎつね」。以前は１か月くらい費やして読み込んでいました。最後の場面。兵十（ひょうじゅう）に火縄銃で撃たれたとき、ごんは土間に栗を固めて置いていました。その「固めて」という言葉だけで１時間子どもたちが意見を交わしたこともあります。また、天国に行ったごんにかけたい言葉をクラスで分かち合っていました。今はそのような時間もないのでしょうか。

時代の流れにあらがうことはできませんが、デジタルネイティブのα世代の子どもたちにも読み聞かせや読書を通して自分なりに場面を想像し、登場人物に同化してどっぷりと喜怒哀楽の感情に浸る時間を、せめて園とご家庭だけでも大切にしていきましょう。（園長　寺本　明生）